

## 第 47 回 放送番組審議会 議事録

令和 6 年 10 月 1 日 (火)  
株式会社有明ねっこむ

## ■第47回 放送番組審議会

1.開催日時 令和6年9月26日(木)15時00分～

2.開催場所 株式会社有明ねっとこむ 1階会議室

3.出席者 委員長: 石丸 智士  
委員: 城戸 久信、大石 教義、松崎 義和  
(計4名)  
放送局: 納富 和由紀(代表取締役社長)、永江 美穂 (FMたんと局長)、中原 敬介 (FMたんと副局長)  
(計3名)

4.議題 審議番組: ・防災インフォメーション(大牟田市・みやま市・荒尾市・消防本部)  
2024年8月 放送分  
・防災放送(台風10号)  
2024年8月28日(水) 17:16～17:23 放送分

5.議事の内容

- 防災インフォメーション(大牟田市・みやま市・荒尾市・消防本部)  
【放送局】この番組は各市の防災管理室、大牟田消防本部の職員が毎月テーマを変えて、その放送月に合った内容や注意喚起、日頃の備えなどを市民の方に呼びかける番組です。パーソナリティは渡辺よしみです。
- 実際の音源を聴き、各委員から審議番組に関する意見、それを受けて放送局からの発言があった。内容は以下の通り。  
【委員】話の内容は良い内容だったと思う。内容は局と行政どちらが準備していますか。  
【放送局】シナリオを行政で作成して、担当者と月二本程度の収録を行います。  
【委員】話の内容が重複することはないですか。  
【放送局】台風の時期など同じような話題ではあるけれど、地域情報がそれぞれあるので全く同じになることはありません。  
【委員】これは対面での収録ですか。

【放送局】はい。局との連携を強化する目的もあり、スタジオに来ていただいで収録しています。

● 防災放送(台風10号)

【放送局】お聴きいただくのは台風10号が接近した際に放送した防災放送です。

大雨や台風時の避難所開設に併せ、FM たんとでは24時間体制で、避難所の状況、通行止めや川の様子、施設の休館案内などを1時間に1回を目途に繰り返し放送し、また、場合によってはスタッフが大牟田市役所の災害本部から、リアルタイムな情報を中継します。みやま市、荒尾市についても同様に、スタジオから情報を伝える他、防災対策室と電話をつなぐなどして注意喚起等を放送しています。放送はパーソナリティ他、スタッフが交代で行います。

● 実際の音源を聴き、各委員から審議番組に関する意見、それを受けて放送局からの発言があった。内容は以下の通り。

【委員】地域のコミュニティ放送局として防災放送は必要不可欠だと思います。防災放送で避難所開設の情報を放送されていますか。

【放送局】はい。避難所開設時に行政から連絡が来ますので、その情報をもとに随時放送を実施しています。

【委員】今回は台風でしたが、防災放送はどの時点から放送を開始していますか。

【放送局】行政から注意喚起を行いたいなど依頼があれば放送を実施しています。また時間ごとの定期的な放送であれば、防災対策本部が立ち上がったところが起点となっています。

【委員】定期的な放送で最後の放送になるのはどういったタイミングですか。

【放送局】基本的に避難所が閉鎖されて、災害対策本部が解散となったタイミングが最後になります。

## 6. 次回の会議 令和6年11月(日時は未定)

## 7. 審議機関の答申又は意見の概要公表

自社ホームページに掲載(令和6年10月1日掲載)